

結腸癌の線維化の質は潜在的な転移・再発リスクの因子となるか

1、 研究の目的と意義

結腸癌の壁深達度が同一であるがリンパ節転移を起こしている症例と起こしていない症例及びそのうち再発群と非再発群のそれぞれにおいて病理組織上での線維化の質を見ることで予後不良群に特有に見られる所見を見出すことを目的とします。本研究により結腸癌の予後不良及び再発ハイリスク群が明らかになればリスク群の囲い込みに有用となると考えています。

2、対象となる患者さん

2016年4月～2021年3月に長崎大学病院大腸・肛門外科で手術を受けて大腸癌に罹患した方の中で壁深達度が固有筋層を超えて漿膜下層内にとどまって（T3）おり、リンパ節転移のある方とない方でそれぞれ19名、20名抽出します。

（治療当時に18歳以下であった方は除外しています。）

3、研究の方法

本研究では研究対象者の診療録より情報を収集するとともに、長崎大学病院大腸・肛門外科及び病理部で保管してある結腸癌症例の癌部の病理パラメーターの評価を行います。病理の解析は病理標本の組織をweb上で登録し、受託施設（PHARMANEST）にて解析を行います。結腸癌症例のうちリンパ節転移の有無や再発の有無での線維化の違いを比較検討します。

4、研究に用いる試料・情報

本研究ではカルテより患者さんの年齢や性別、手術後の治療歴や治療経過、画像検査結果（CT、MRI、PET-CT）を確認させていただきます。

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

5、研究期間

研究機関長の許可日～2027年3月31日

6、外部への試料・情報の提供

本研究は大腸癌の術後病理標本の線維化の質を評価するために標本をデジタル化し、委託先へデジタル化されたデータを郵送します。業務委託先については下記に記した通りです。

<研究業務の委託機関>

PHARMANEST 社 責任者：Matheieu Petitjean

住所：100 Over look center, FL2, Princeton, NJ 08540 USA

7、研究実施体制

この研究は長崎大学病院のみで実施する研究です。

《研究責任者》

長崎大学病院医歯薬学総合研究科 消化器内科 中尾 一彦

8. お問い合わせ先

長崎大学病院 消化器内科 中尾一彦

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号

電話：095（819）7671

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616

受付時間：月～金 9：00～17：00（祝・祭日を除く）